

# 柔道大会実施要項

1. 期日 令和8年7月4日(土)団体戦、11日(土)個人戦
2. 会場 露橋スポーツセンター
3. 参加人員 団体戦……1所属男女各1チーム、監督1名、  
男子選手5名補欠2名、女子選手3名補欠1名  
個人戦……男子8階級、女子8階級、各階級1チーム3名以内

## 4. 競技上の規則および方法

(1)国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」、「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」による。

- ①試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。
- ②個人試合及び任意の選手によって行われる団体戦の代表戦は、「一本」「技あり」「有効」または「僅差(『指導』の差2)」で決着がつくこととする。
- ③ゴールデンスコアについては、スコアが与えられた時点で、直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。
- ④団体戦の個々の試合の優勢勝ちの判定基準は、技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。代表戦は、任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝負の決定方法は、個人戦と同様とする。

(2)6月6日(土)の審判講習会(監督会議)で審判規定・申し合せ事項等の審議・確認を行う。

(3)試合方法

### 【団体戦(1日目)】

- ①勝負は、勝数の同じ場合は内容により決定する。(「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」)内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。
- ②チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。(参加申込書に体重を記入する)
- ③選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も順次体重順の編成とする。
- ④一度選手変更を行った者は以後の試合には出場できない。

### 【個人戦(2日目)】

- ①階級別トーナメント方式とする。
- ②体重が適合しない場合は失格とする。無理な減量は行わない。
- ③体重別階級は次のとおりとする。(大会当日、計量を実施する)

#### 男子8階級

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| ○ 50kg 級 (50kg 以下)         | ○ 55kg 級 (50kg 超～ 55kg 以下) |
| ○ 60kg 級 (55kg 超～ 60kg 以下) | ○ 66kg 級 (60kg 超～ 66kg 以下) |
| ○ 73kg 級 (66kg 超～ 73kg 以下) | ○ 81kg 級 (73kg 超～ 81kg 以下) |
| ○ 90kg 級 (81kg 超～ 90kg 以下) | ○ 90kg 超級 (90kg 超)         |

#### 女子8階級

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| ○ 40kg 級 (40kg 以下)         | ○ 44kg 級 (40kg 超～ 44kg 以下) |
| ○ 48kg 級 (44kg 超～ 48kg 以下) | ○ 52kg 級 (48kg 超～ 52kg 以下) |
| ○ 57kg 級 (52kg 超～ 57kg 以下) | ○ 63kg 級 (57kg 超～ 63kg 以下) |
| ○ 70kg 級 (63kg 超～ 70kg 以下) | ○ 70kg 超級 (70kg 超)         |

(4)計量

- ①団体戦は、9:15～9:40、個人戦は、8:30～9:10に行う。
- ②団体戦計量時の服装は、男子は下穿きのみ、女子は試合用Tシャツと下穿きを着用

する。個人戦時は、下着・スパッツでの計測を認める。

③団体戦、個人戦とも包帯やサポーターの着用は認めない。

④別室計量が必要な選手は申し出ること。係の判断により必要と認められた選手は係から指示されることがある。

#### 5. 引率・監督・コーチ

(1)本実施要項P. 1の7に同じ。

(2)参加生徒の引率者・監督は当該校の教員とする。ただし、学校事情により当該校の校長が認めた引率者としての外部指導者（コーチ）に監督の資格を認める。地域クラブ活動所属で参加する場合、参加生徒の引率者・監督は、責任ある代表者、指導者で地域クラブ活動加盟申請書に記載された者とする。

(3)引率者・監督がいない場合は、出場できない。

(4)ベンチ入りするコーチは、当該校の教員以外の者でもよい。ただし、20歳以上であり、校長が承認した者で、継続的に指導を行っている者とする。地域クラブ活動所属で参加する場合、地域クラブ活動加盟申請書に記載された者とする。

(5)当該校の教員以外をコーチとしてベンチ入りさせる場合は、コーチ（外部指導者）確認書（校長承認書）を大会参加申込書と一緒に提出する。当該校の教員、地域クラブ活動所属の場合、大会申込書のコーチ欄に記載すること。コーチ（外部指導者）確認書の提出は求めない。

(6)審判員（白ワイシャツ、グレーズボン）に準じた服装をする。

(7)コーチは1チーム1名とし、他チームと兼ねることは不可。但し、同一チームで男女ともに出場している場合には、男女それぞれに1名置くことができる。

(8)監督・コーチは、「試合場におけるコーチの振る舞いについて」の規定を厳守すること。

#### 6. 申込方法・監督会議

(1)要項巻末の柔道用申込書により5月15日（金）までに新宮宏紀（上志段味中）宛に申し込む。

(2)監督会議は6月6日（土）午前9:30より露橋スポーツセンター会議室で行う。

#### 7. その他

(1)現行の（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。

①上衣・下穿きは、IJF ロゴ（赤）または JU0000/JUB000 の赤文字ラベルのもの

②帯は、IJF ロゴ（赤 / 青）または JU000 の赤文字 / 黒文字ラベルのもの

③上衣・下穿きのメーカーは同一であること

(2)ゼッケンの着用 ※次頁の図参照

柔道衣背部にゼッケン（チーム名・名字入り）を着用。

①布地は白色（晒、太綾）

②サイズは 横 30～35 cm 縦 25～30 cm

③名字（姓）は上側 2 / 3、チーム名は下側 1 / 3

④書体は太字ゴシック体（明朝体・楷書体でもよい）

男子は黒色、女子は濃い赤色

⑤縫い付けの場所は、後ろ襟から 5～10 cm 下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

(3)柔道衣の大きさ ※次頁の図参照

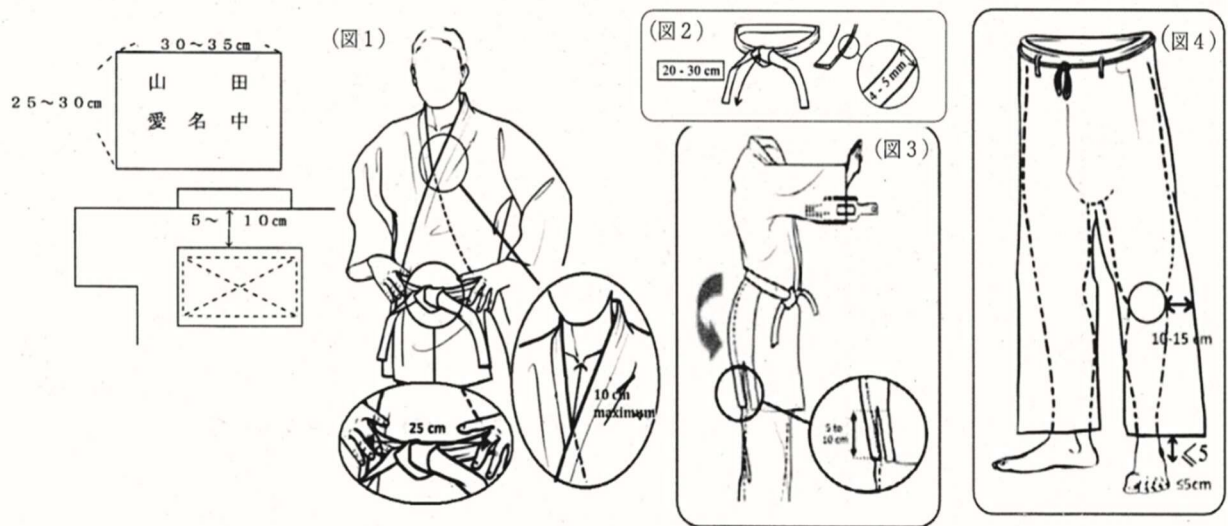
①胸骨上部頂点から襟の交差部が 10 cm 以下、上衣を前で重ねた下襟の距離が 25 cm 以上（図 1）

②帯の結び目から端が 20 cm～30 cm（図 2）

③袖の長さが腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、手首の骨を含めて腕全体が覆われる長さ

④上衣が前後同等の長さでお尻を完全に覆っていて、帯からの長さが階級の規程に合っている（73 kg 以下の階級：20 cm 以上 / 73 kg 以上の階級：25 cm 以上）（図 3）

⑤下穿きの長さは、裾口からくるぶしの外側までの距離が 5 cm 以下、幅は膝の位置で 10 cm～15 cm（図 4）



#### (4) 女子選手のTシャツ

- ①色は白（透けない）、半袖、丸首
- ②製造業者のマークは最大 30 cm<sup>2</sup>で柔道衣着用時に見えないもの
- ③所属名称や所属エンブレムを左胸につけることは認められ、最大 100 cm<sup>2</sup>

#### (5) 地域クラブ活動の参加について

- ①「名古屋市中学校総合体育大会に関わる参加資格の特例」「名古屋市小中学校体育連盟地域クラブ活動加盟規程」を遵守すること。
  - ②大会引率、監督、帯同コーチは全柔連公認指導者資格を有していなければならない。
  - ③団体戦・個人戦共に参加できる。
  - ④柔道修業期間を6か月以上経過した中学生のみ大会に参加することができる。
  - ⑤大会参加にあたり、参加資格特例条件に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合、同一年度の地域クラブ活動の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和8年度内の参加を認めない。
- (6) 第80回愛知県中学校総合体育大会の予選を兼ねる。